



焼津水産化学工業株式会社

BUSINESS REPORT 2013

平成25年3月期 中間報告書 [平成24年4月1日～平成24年9月30日]

天然素材のフィールドで、 “おいしさと健康”を追求します。

代表取締役社長

山本 和広



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに平成25年3月期 中間報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

最近の食品業界におきましては、原材料価格が高い水準にあり、価格競争の激化や消費者の生活防衛意識の高まりもあり、依然として厳しい収益環境が続いております。

このような環境下、当社グループは3ヵ年中期経営計画「Challenge & Growth」(挑戦と成長)に基づき、利益を重視した筋肉質な収益構造を構築しつつ、事業拡大に向けた施策を遂行してまいりました。

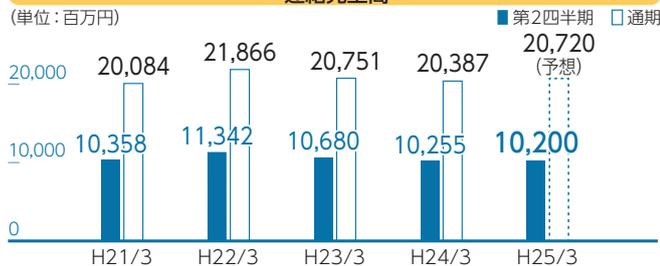
今期は、既存事業の深化、新商品・サービス開発、新規顧客開拓、新事業領域開拓の4つの切り口で、生産効率の改善や経費削減に取り組みつつ、既存得意先への営業強化、価格競争力のある商品開発、農業分野をはじめとする他分野への仕掛け等を行っております。事業別では、調味料事業

で不採算製品の見直しを進めるとともに、得意とする水産系調味料の拡販を図りました。機能食品事業では医療栄養食で自動化設備を導入し、合理化を進めました。海外事業では、中国にある子会社の大連味思開生物技術有限公司にて独自性のある製品開発を進め、中国企業向けの商品開発や営業強化を行うなど新興国の需要獲得に取り組みました。また、災害に強い生産体制を構築すべく事業継続計画(BCP)の策定を開始し、今年6月には静岡県の内陸部に新工場用の土地を取得し、具体的な対策を始めています。

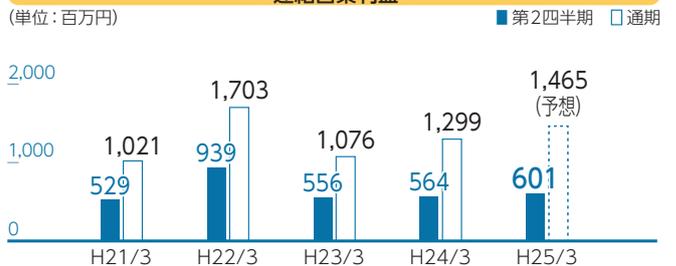
当社グループを取り巻く事業環境には依然として厳しいものがありますが、引き続きグループの力を結集して取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

● 連結売上高 ●



● 連結営業利益 ●



● 連結経常利益 ●



● 連結四半期(当期)純利益 ●



※ 水産物の問屋買付に伴う取引については、従来、売上高及び売上原価に計上する方法(総額表示)を採用しておりましたが、平成24年3月期より、売上高から売上原価を控除する方法(純額表示)に変更しました。これに伴い、平成23年3月期についても遡及適用しております。

営業概況

当第2四半期連結累計期間の業績は、前期に医療栄養食で震災の影響から一時的に需要が増加した反動があり、売上高は102億0百万円(前年同期比0.5%減)となりました。利益面では、調味料事業の採算性向上と製造経費、販管費の節減に

より原材料費の上昇をカバーし、営業利益は6億1百万円(同6.5%増)、経常利益は6億1百万円(同0.0%減)、四半期純利益は3億45百万円(同2.7%減)となりました。

セグメント情報

天然調味料の製造

調味料の受託加工

調味料

売上高構成比
39.9%

売上高 **40億74百万円** (前年同期比 **+1.8%**)

セグメント利益 **5億53百万円** (前年同期比 **+29.2%**)

国内消費の伸び悩みから需要は頭打ちの状況にありますが、当社が得意とする水産系調味料の拡販に注力するとともに、不採算製品の見直しを進めました。

天然調味料

カツオエキス 昆布エキス ホタテエキス
カニエキス オイスターエキス etc.

機能性食品素材の製造 医療栄養食(流動食の受託製造)

健康食品の通信販売 機能食品の受託加工

機能食品

売上高構成比
34.7%

売上高 **35億38百万円** (前年同期比 **-8.5%**)

セグメント利益 **3億62百万円** (前年同期比 **-22.3%**)

デフレ環境下で厳しい価格競争が続いているなか、医療栄養食において前期に震災の影響から一時的に需要が増加した反動で売上、利益ともに減少しました。

機能性素材

N-アセチルグルコサミン アンセリン
マリンコラーゲン フコイダン
コンドロイチン硫酸 etc.

水産物の問屋業 倉庫業 水産物の加工

水産物

売上高構成比
17.1%

売上高 **17億38百万円** (前年同期比 **+23.3%**)

セグメント利益 **21百万円** (前年同期比 **-66.6%**)

主に冷凍鮪・冷凍鰹の原料販売並びに加工製品の製造販売です。売上高は海外向けを中心に鮪の販売が好調に推移しましたが、前期から続く原料高や設備投資による償却等の経費増により増収減益となりました。

香辛料の製造 その他商品

その他

売上高構成比
8.3%

売上高 **8億49百万円** (前年同期比 **-12.9%**)

セグメント利益 **31百万円** (前年同期比 **-16.2%**)

各種ワサビ類他香辛料の製造販売、その他商品の販売ですが、販売ルートの見直しや原料費上昇の影響があり、売上・利益ともに貢献出来ませんでした。

※上記における各分野のセグメント利益は配賦不能費用(3億67百万円)控除前のものです。

TOPICS

トピックス

UMIウェルネスの新商品

マルチビタミン&ミネラル



UMIウェルネスの「マルチビタミン&ミネラル」は、1粒に12種類のビタミンと9種類のミネラルをギュッと凝縮。お互いに助けあって働く成分をバランスよく配合しました。普段の生活では摂りにくい栄養素を、手軽に一度にとることができます。

美味しいから
続けやすい

N-アセチルグルコサミン



お陰さまで累計販売
140万袋突破
1日1粒を目安に健康的な生活を

■ご注文・お問い合わせはUMIウェルネス株式会社まで ☎ **0120-657-032** 午前9:00～午後5:30 月～金曜日(平日)

環境への取り組み

環境に配慮した活動を推進中

当社では主力3工場(大東、榛原、焼津・団地工場)のボイラーで使用する燃料を、環境負荷の少ない天然ガスやLPG(液化石油ガス)に切り替えています。また、社員教育として省エネに関する講習会を実施したり、焼津市の海岸沿いを中心とした地域の清掃活動に参加するなど、環境保護活動に積極的に取り組んでいます。



大東工場の天然ガス貯蔵基地



榛原工場のLPGタンク



講習会風景



海岸の清掃活動

BCPへの取り組み

事業継続計画(BCP)を策定中

当社では従業員の人命尊重の観点から津波避難施設や災害時の緊急放送設備等を設置しています。さらに製品供給面でのリスク分散の観点から新工場用地を確保するなど、災害に強い体制作りを進めています。



避難訓練の様子



大東工場の津波避難階段



掛川市の新工場予定地

連結財務データ

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (平成24年3月31日)	当第2四半期末 (平成24年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	12,326	11,321
固定資産	9,166	10,020
有形固定資産	6,378	7,422
無形固定資産	222	196
投資その他の資産	2,565	2,402
資産合計	21,493	21,341
(負債の部)		
流動負債	3,245	3,027
固定負債	414	375
負債合計	3,659	3,403
(純資産の部)		
株主資本	17,811	17,988
資本金	3,617	3,617
資本剰余金	3,414	3,414
利益剰余金	10,786	10,963
自己株式	△ 6	△ 6
その他の包括利益累計額	21	△ 50
その他有価証券評価差額金	83	10
為替換算調整勘定	△ 62	△ 60
純資産合計	17,833	17,938
負債・純資産合計	21,493	21,341

- **資産**
固定資産が増加しましたが、流動資産が減少したことから1億51百万円減少しました。
- **負債**
流動負債、固定負債ともに減少したことから2億55百万円減少しました。
- **純資産**
利益剰余金が増加したことなどから1億4百万円増加しました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	当第2四半期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
売上高	10,255	10,200
売上原価	7,877	7,853
売上総利益	2,378	2,347
販売費及び一般管理費	1,814	1,746
営業利益	564	601
営業外収益	73	76
営業外費用	36	76
経常利益	601	601
特別利益	0	11
特別損失	4	47
税金等調整前四半期純利益	597	565
法人税等	242	219
少数株主損益調整前四半期純利益	355	345
四半期純利益	355	345

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	当第2四半期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,252	260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 104	△ 1,282
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 200	△ 273
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5	△ 1
現金及び現金同等物の増加額(減少額△)	942	△ 1,297
現金及び現金同等物の期首残高	2,513	3,282
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,456	1,985

- **営業活動によるキャッシュ・フロー**
四半期純利益3億45百万円を計上したことなどにより、増加した資金は2億60百万円となりました。
- **投資活動によるキャッシュ・フロー**
新工場予定地の取得などにより、減少した資金は12億82百万円となりました。
- **財務活動によるキャッシュ・フロー**
配当金の支払いなどによって、減少した資金は2億73百万円となりました。

会社概要 (平成24年9月30日現在)

商号	焼津水産化学工業株式会社
事業内容	天然調味料及び機能食品の製造販売
資本金	36億1,764万円
創業年月日	昭和34年5月15日
取引銀行	静岡銀行本店営業部/りそな銀行東京営業部
事業所	静岡本部 〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町11番1号 静岡本部 TEL.054-202-6030 FAX.054-202-6031
焼津本社	東京営業所、大阪営業所、名古屋営業所、九州営業所
営業所	静岡県内3工場(焼津・団地工場 橋原工場 大東工場)

連結子会社	● オーケー食品株式会社 資本金 50百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 香辛料・顆粒調味料の製造・販売
	● マルミフーズ株式会社 資本金 100百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 水産物の加工・販売
	● 大連味思開生物技术有限公司 資本金 505百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 調味料等の製造・販売
	● UMIウェルネス株式会社 資本金 50百万円 当社の議決権比率 100% 主な事業内容 健康食品の通信販売

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
株主確定基準日	(1) 定時株主総会議決権行使株主 3月31日 (2) 期末配当金受領株主 3月31日 (3) 中間配当金受領株主 9月30日 (4) その他必要あるとき あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第1部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 (〒168-0063)
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行事務センター 電話番号(0120)782-031【フリーダイヤル】

同取次所	三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞に掲載致します。
株主に関する各種手続きのお申し出先	(1) 証券会社経由で株式会社証券保管振替機構(ほぶり)に株式がある場合 ▶株主様が口座を開設している証券会社 (2) 特別口座に株式がある場合 ▶三井住友信託銀行株式会社 お問い合わせは下記の証券代行部フリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。 フリーダイヤル 0120-176-417 (24時間受付:自動音声案内) ホームページ http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html

※ 配当金領収証で配当金をお受け取りの株主様は、別紙「配当金口座振込サービスののご案内」をご覧ください。